

はじめに

「なんていうか、その……。どうしてこんな事^{データ}になってるのかな？……かな？」

何かあるの？

はじめましての方は、はじめまして。そうでない方には、ごきげんよう。YuelStudio.org 代表 Yuel Y. です。この度は UMC-707 「プロとして恥ずかしくない音楽 CD の印刷物」を手にとっていただき誠にありがとうございます。

何が要るの？

いきなりでアレですが、この本、「音楽 CD の」なんて書いてますが、3 章「こういうデータは勘弁してくれ」では印刷物全般に使える内容を目指して解説していますので、日頃のデータ制作にも生かしていただければ幸いです。

勘弁して？

あと、この本で書いている内容とお使いの印刷会社・プレス会社で聞いた話と相違がある場合があります。特に寸法は会社によって 2~3mm 違うものもありますので、依頼する会社にテンプレートがあればテンプレートを、なければ聞いてそれに合わせて制作するようにすると良いでしょう。この本だけに限った事ではないですが、著者のいる環境のローカルルールが書いてある可能性があります。迷ったときには問い合わせをすることをお勧めします。

こんなの如何？

本書内でも繰り返し述べていますが、「そのデータ、「完全データ」のつもりですか？」というのはつまり、データがちゃんとしていないと印刷できなかつたり追加料金を取られたり納期が遅れる原因になります、という事です。もちろんそれをどうにかするのが私たちの仕事ではありますが、一般に原因を取り除くのが一番手っ取り早いものですよね。

チェックして？

どうかトラブルの少ない追加料金を取られないすぐ印刷できるデータを作るように心がけて下さい。その恩恵を一番に受けるのは発注者であるあなたなのでから。

ブラック

ばらばらなブラックの濃度

400% ブラック

一言にブラックと言ってもいろいろな色のブラックがあります。ブラック 100% だけでもブラックですし、他の3色を混ぜてもブラックです。しかし、ブラック 100% と4色掛け合わせのブラックでは明らかに色が・濃さが違って来ます。制作時に気をつけてそろえておかないと、ページの途中で色が変わって違和感が出る事があります。

また、全ての色を 100% 掛け合わせると確かに非常に濃いブラックになりますが、一方で濃すぎてインキが非常に乾きにくくなってしまいます。手持ちのインクジェットプリンタで普通に上質紙にブラックを一面に印刷してもらおうと、おそらく紙が波打ってしまうと思います。インクジェットプリンタの速度ですらそういう事になってしまうので、時速一万枚程度印刷できる印刷機だとどうなるか想像に難くないと思います。実際は印刷機のインキや紙はインクジェットのそれより乾きやすいですが、それでも濃い色が上の紙の裏に付いて（これを裏付きと言います）しまう事があります。もちろん、裏付きしないように遅く印刷するとか出来なくはないですが、どこでもそんなデータは嫌がられるのは言うまでもないでしょう。印刷会社によっては別料金を取る所も珍しくないそうです。

実際に 400% ブラックがあるデータを見るとその殆どは 100% のブラックで十分ですし、単純にブラック 100% との違いが判ってないじゃないか？ という事もあります。

ただのブラック 100% ではなくもっと濃いブラックにしたい、というのであれば、CMYK 合わせて 250% 前後ぐらいまでの掛け合わせ (C40M30Y30K100 など) にしておくべきでしょう。

細い線

色にもよりますが、あまり細い線だと印刷できません。特に暗い地に白い線や薄い色の線は、点線になってしまう事があります。これはレーザープリンタで印刷したときにも同じように発現するのである程度容易に発見できると思います。インクジェットプリンタ、特に調整していない家庭用だと普通に出る事がありますが、それはそのプリンタが勝手に印刷するデータを変えているからです。自前のプリンタで出ているからといってそのまま印刷出来るとは言えないのでくれぐれもご注意ください。

どちらを使って良いのか判らない、あるべきモノがない、余計なモノがある、などは、納期が遅れる原因につながります。

抜け漏れなどが無いか、今アップロードしているファイルは最終版か、よく確認して入稿するようにならないと、希望納期に間に合わなくなる可能性があります。

何かあるの？

何が要るの？

勘弁して？

こんなの如何？

チェックして？

折りケース

プレスでこれをやってる人は見た事無いんですが、一枚の紙を折ってケースにしてしまうモノです。ただし折る手間が掛かるので大量生産には向きません。折る種類はいくつかあるようですが、紙だけで作るケースの場合、きちんと CD 本体が保護できるかどうかは微妙な所です。心配なら CD を不織布ケースに入れる事をお進めします。

アラウンドジャケット

正式名称はなんて言うのか知りませんが、プラスチックケースの外側に印刷物を巻くモノです。メジャーならたまにアルバムなどに使われる事を見かけます。CD ケースの外側に巻くので紙の厚さ分一枚あたりの厚さが増えますので、一箱に入る量が減りますが、見栄えは良くなりますしデザインの自由度は上がります。

スーパージュエルボックス

特殊装丁ではないのですが、まだあまり採用されていないケースなので紹介しておきます。このケースは、ジュエルケースの改良版の様なケースで、従来より剛性が上がりケースの開閉も容易になっています。種類も従来のケースと同じぐらい(スリム、通常、トール、複数枚用)存在しています。

まだ対応しているプレス会社は数えるほども無いようです。印刷物のテンプレートもまだあまり存在していないようですが、ケースの販売店やメーカーで仕様は公開されているので、その値を元に制作はできます。

ケース単価は従来のモノと比べると若干高いようですが、量を買えば誤差の範囲でしょう。

CD 以外

DVD

DVD は CD よりも容量が大きいので当然同じ音質なら収録時間は長く出来ますし、高音質化する事も出来ます。プレス費用も最近は下がってきている様です。

ただ問題としては、DVD-Audio 規格はあまり普及していないという点でしょうか。

MD

昔 CD-R が普及する前はたまに見かけない事も無い程度にはありましたが、最近めっきり見なくなりました。MD のプレス (?) は結局高速道路のサービスエリアでしか見た事が無いのですが、どこに行ってしまったのでしょうか。

テープ

その昔デジタルの記憶媒体が未だ非常に高かった時代、CD のプレスも個人向けにはほぼ存在しなかった時代には即売会でも頒布されていたそうです。テープはアナログなので CD と違って多少レベルオーバー気味でもノイズになりにくいです。テープコンプレッションのプラグインがあるぐらいですし、ま、あくまで「デジタルノイズにはならない」程度ですが。

何かあるの？

何が要るの？

勘弁して？

こんなの如何？

チェックして？